

まずは

「検査」を受けましょう！

歯周病は、知らない間に進行し、そのうえ目に見えない顎の骨が溶けてなくなる病気です。適切な治療をするためには、歯肉やあごの骨がどんな状態にあるかを見極めなければなりません。「歯周基本検査」「歯周精密検査」は、これからの治療方針を決める重要な検査です。

まずは
「歯周基本
検査」から

- ・歯周ポケットの深さを1ヵ所以上測定します
- ・歯が動くかどうか(歯の動揺度)を調べます

もう少し
詳しく調べる
「歯周精密
検査」

- ・歯周ポケットの深さは4ヵ所以上で測定します
- ・歯の動揺度をチェック
- ・プラークを染め出して付き具合をチェック

さらに詳しく
調べるときも
あります

- ・歯肉からの出血(出血は炎症の証拠です)
- ・歯と歯の間隙の大きさ
(食べ物が挟まる原因です)
- ・付着歯肉の幅
- ・歯槽骨の溶けている程度
- ・口腔内写真
- ・X線写真

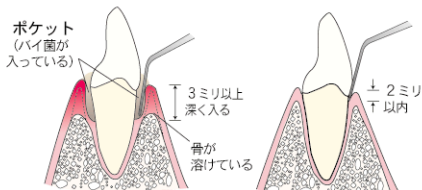


歯周ポケットの測定検査

歯周病になると歯と歯肉の間の溝(歯周ポケット)が深くなり、その中に歯石が溜まります。

歯周病の歯ぐき

健康な歯ぐき



動揺度検査

ピンセットで歯を動かしてみても動揺度を調べます。



プラーク付着検査

歯と歯の間や歯と歯ぐきの境目等にプラークが付着しています。

